

APL 初発・進行期 APL97 induction (D群)

患者ID : @PATIENTID

コース目

患者氏名 : @PATIENTNAME

1コース：不定期

目標：1コース

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)
\$HEIGHT01_Doc	\$WEIGHT01_Doc	#VALUE!

使用薬剤：イダルビシン (IDR) : イダルビシン注 5mg/V

シタラビン (Ara-C) : シタラビン注 20mg/A/1mL, 200mg/A/10mL

※ HbC抗体測定し、陽性ならTaqMan HBV検査までおこなうこと

※ 日和見感染症に注意。胃潰瘍 (PPIなど)、口内炎、便秘の予防について考慮すること

A群 : WBC < 3000/μLかつAPL細胞数 < 1000/μL

ATRA 45mg/m²/日 連日内服のみ

B群 : 3000/μL ≤ WBC < 10000/μLあるいはAPL細胞数 ≥ 1000/μL

ATRA 45mg/m²/日 連日内服と

IDR 12mg/m² × 2日間 + Ara-C 80mg/m² × 5日間

C群 : WBC ≥ 10000/μL

ATRA 45mg/m²/日連日内服と

IDR 12mg/m² × 3日間 + Ara-C 100mg/m² × 5日間

D群 : A~C群で治療中にAPL細胞数 ≥ 1000/μLになった時

IDR 12mg/m² × 2日間 + Ara-C 80mg/m² × 5日間を追加投与

薬剤	投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
イダルビシン	12 mg/m ²	#VALUE!		1, 2
シタラビン	80 mg/m ²	#VALUE!		1 ~ 5

<< タイムスケジュール >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日 (Day1) : 1月1日 (金)

時刻	①	②	③	④	薬剤	投与量	投与日
0時00分	①				生理食塩液 50mL		
					15分で点滴静注		
0時15分	②				生理食塩液 100mL		
					30分で点滴静注		
0時45分	③				生理食塩液 50mL		
					フラッシュ		
1時00分		④			生理食塩液 500mL		
					24時間で点滴静注		

Day 2	1月2日 (土)						
0時00分	①				生理食塩液 50mL		
					15分で点滴静注		
0時15分	②				生理食塩液 100mL		
					30分で点滴静注		
0時45分	③				生理食塩液 50mL		
					フラッシュ		
1時00分		④			生理食塩液 500mL		
					24時間で点滴静注		

Day 3~5	1月3日 (日) ~		1月5日 (火)				
0時45分	①				生理食塩液 50mL		
					15分で点滴静注		
1時00分		②			生理食塩液 500mL		
					24時間で点滴静注		

Day 6	1月6日 (水)						
1時00分	①				生理食塩液 50mL		
					フラッシュ		

REFERENCE

Norio Asou, yuji Kishimoto, Hitoshi Kiyoi, et al BLOOD 2007 ; 110 : 59-66

A randomized study with or without intensified maintenance chemotherapy in patients with acute promyelocytic leukemia who have become negative for PML-RARα transcript after consolidation therapy: The Japan Adult Leukemia Study Group (JALSG) APL97 study

2011年化学療法プロトコール審査委員会承認 : 2011年5月9日 更新 : 2016年2月8日